

1 地域の農地を飼料生産に積極的に利用！

宮崎県串間市

チェック！ポイント

- ☑ 個人が耕作できなくなった農地の活用に意欲のあるコントラクターが、地域計画の話し合いに参加。
- ☑ コントラクターが農地の受け手となり飼料生産。

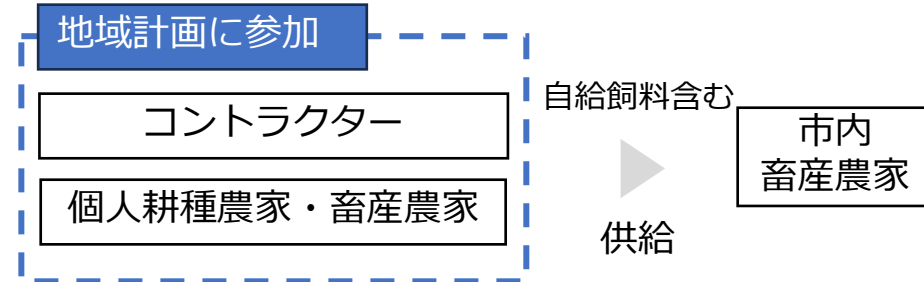


▲話し合いに使用した地図

飼料生産の状況

- ・ 肉牛及び酪農共に盛んで、**畜産が地域農業の基盤**。
- ・ **地域の酪農家や耕種農家で設立されたコントラクター**が、個人が耕作できなかった農地を引き受け飼料生産。
- ・ コントラクターは畜産農家の需要を把握し、**飼料の品質に定評**あり。
- ・ 水田に加えて、離農農家の畑地での牧草生産も開始。

飼料生産と利用の概要



地域計画の作成状況

- ・ 一部地域で先行して、話し合いを実施。
- ・ 話し合いの中では、コントラクターを中心に、個人が耕作できなかった農地を活用して、**飼料生産を進めていく意向を再確認**。
- ・ 飼料生産に取り組むコントラクター代表者を中心に話し合い。
- ・ **コントラクターや飼料生産を行う畜産農家も位置付けた目標地図を作成**し、地域計画を公表済み。

地域計画の工夫

- ・ 話し合いの前に、市がアンケートで、今後の経営意向や**今後耕作しなくなる農地等を把握**。
- ・ **あらかじめ付箋で地図に記載して、目視化し、目標地図を囲みながら**、話し合いを実施し、具体的な意見が出やすくなる。
- ・ 地域の農地の活用に意欲があり、コントラクター代表でもある畜産農家が話し合いに参加。

記載内容【一部抜粋】

（３）地域における農業の将来の在り方

平成２９年３月に担い手で設立したＡコントラクターは、**地区内の農地の受け皿としての役割を担っていることから**、農地の受け手がいない場合、その受け皿として機能を発揮する必要がある。

（５）農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

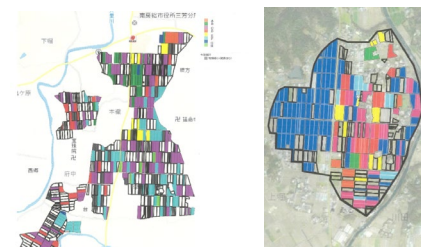
地区内で農作業の効率化を図るため、…**飼料に関する作業はＡコントラクターへ委託をすることで**、農業機械を更新しないシステムを構築し、過剰投資の抑制を図る。

千葉県南房総市

チェック！

ポイント

- ☑ 畜産農家や立ち上げられたコントラクターも含めて話合いを実施。
- ☑ コントラクターが作業の担い手となり飼料生産。

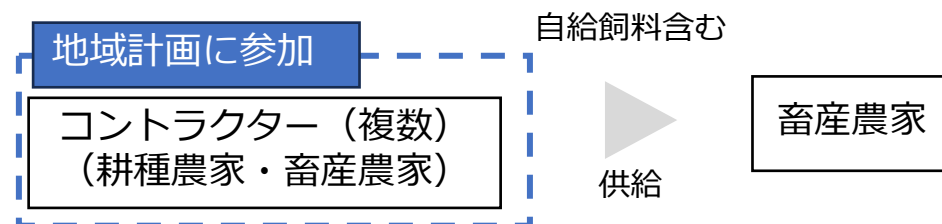


▲目標地図の一例

飼料生産の状況

- 水田地帯では、**畜産農家、耕種農家双方から成るコントラクター**が飼料生産。
- 酪農団地地帯では主に畜産農家が自給飼料を生産。耕作放棄地や中山間地も活用して飼料生産。

飼料生産と利用の概要



地域計画の作成状況

- 畜産農家も含めて話合いを実施。水稻地区での話合いは、**畜産農家も話合いに参加**。
- 2地区で**コントラクターや飼料生産も含めた地域計画を策定済み**。
- 今後飼料作物さらに生産したい、酪農家に需要があり高栄養な青刈りとうもろこしを作付けしたいという意見も出される。
- 今後は、酪農団地地帯でも話合い開始予定。

地域計画の工夫

- 人・農地プラン策定地域で**話合いを先行し**地域計画を策定。
- 話合いへの参加率を高めるために、チラシを作成するほか、**担い手やこれからの農業を担う若手農業者、畜産農家などに特に声がけし、参加を促す**。

記載内容【一部抜粋】 (コントラの活動する地域)

(3) 地域における農業の将来の在り方

水稻を主要作物としつつ食用ナバナ等露地野菜、**飼料作物**や飼料用稲を、規模拡大意向の担い手農家へ集積・集約を図る。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

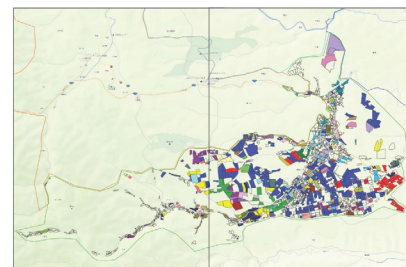
任意記載事項

飼料作物の生産について**地域で立ち上げたA組合によるコントラクター事業の活用**

岩手県洋野町

チェック！ポイント

- ☑ TMRセンターも参加して農地の集約・飼料生産の中心的役割を担う
- ☑ 公共牧場も飼料生産を担い、地域計画にも位置付け

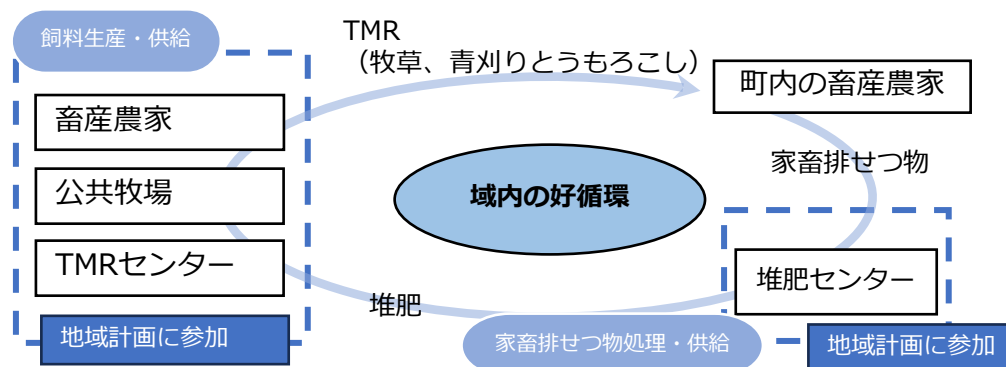


▲目標地図の一例

飼料生産の状況

- 畜産が盛んな地区の酪農家を中心が立ち上げた**TMRセンターが活動**
- 離農した農家の農地を**TMRセンターが集約して飼料生産**
- 地区内の**公共牧場**では、飼料の余剰部は外部に**販売**
- 町内の**堆肥センター**が家畜排せつ物を適正処理し、**耕作に活用**

飼料生産と利用の概要



地域計画の作成状況

- 町内8地区のうち農業が中心となる4地区で既に公表
- TMRセンターの活用や飼料生産も含め、計画を策定**
- 公共牧場も目標地図に位置付け**

地域計画の工夫

- 耕種農家が離農した際の農地の受け皿になることが見こまれる**TMRセンターの組合員も話し合いに参加**
- 各地区ごとの担い手や関係者を集めて話し合い。**農地集約の可能性のある農業者には農業委員から特に声をかけ参加を促す**

記載内容【一部抜粋】

(3) 地域における農業の将来の在り方

酪農・肉用牛農家・飼料生産組織を中心とした大規模経営体へ農地の集約化を進めていく

耕畜連携等 任意記載事項

洋野TMRセンターや洋野堆肥センターなどを活用して、粗飼料の生産から供給、家畜排せつ物の適正処理と自然循環型農業の構築を図る